

Umbrella Roamingクライアントの自動更新の管理

内容

[はじめに](#)

[自動更新の概要](#)

[自動更新プロセス](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaローミングクライアントの自動アップデートがどのように機能するかを説明し、アップデートのスケジューリングを管理するためのオプションの概要を示します。

自動更新の概要

Umbrella Roaming Clientは、利用可能になった新しいリリースをUmbrellaからダウンロードすることで、利用可能な最新バージョンに自動的に更新されます。

- Umbrellaは固定リリースサイクルを使用しません。新機能、バグ修正、および動作の変更に必要に応じてアップデートがリリースされます。
- 新しいリリースに関する更新を受け取るには、リリース通知フォーラムに登録します。
- 組織がUmbrella Roaming Clientの最新の更新を受信することを防止することはできません。
- アップデート管理とスケジューリングを制御するには、Secure Clientにアップグレードします。これにより、これらの機能が提供されます。

自動更新プロセス

1. Umbrellaローミングクライアントは、1 ~ 2時間ごとにHTTPS経由でUmbrella APIのアップデートを確認します。

2. 新しいバージョンが使用可能な場合、クライアントは一時フォルダにダウンロードします。

- Windows :

C:\ProgramData\OpenDNS\ERC\Upgrades

- macOS:

3. 新しいバージョンを検出した後、クライアントは5 ~ 20分のランダムな時間を選択してインストールを開始します。このランダム化された遅延は「ジッタ」と呼ばれ、多数のクライアントが同時にアップデートをダウンロードすることを防止し、Umbrellaインフラストラクチャと、帯域幅が限られたお客様のネットワークの両方で、ネットワーク飽和のリスクを軽減します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。